



諫早西ロータリークラブ週報



太良嶽山金泉寺(諫早市高来町)

2013～2014年度
R.I.会長／ロンD.バートン
ガバナー／塩澤 恒雄

2013～2014年度 諫早西ロータリークラブ標語 『私が変われば世界が変わる』

第1359例会 2013年9月18日例会記録 NO.10 天候 晴れ

【本日】	会員数	38名	出席	33名	欠席	5名	出席率	86.84%	ビジター	4名
【前々回】	会員数	38名	出席	35名	欠席	2名	MC	1名	修正出席率	94.73%

会長の時間

先週は、2010年規定審議会において決議10-182として、『社会奉仕に関する1923年の声明の第1条を奉仕哲学の定義として使用する件が多く賛成を得て採択され、再度決議23-34が復権しました。』とお話しました。この話には、日本のR.I.理事・役員・ガバナー・そして多くの日本のロータリアンの真摯な努力によって勝ち取られた事をお話します。

この決議23-34が長年にわたり、『手続要覧』の社会奉仕の項目に記載されている為、近年、R.I.の奉仕活動における方針と、この決議23-34の内容との齟齬が指摘されることから、ハーバート元R.I.事務総長が、先年、出版した著書『ポリオにうち克つ』の中において、この決議23-34が、ポリオ撲滅運動に支障があると述べられています。このような背景の中、2007年の11月R.I.理事会執行委員会において、『社会奉仕に関する

声明』という議題が、審議順序X-5として提出されようとしているのを日本のR.I.理事が気づいたことから日本の挑戦が始まりました。

- X-5・社会奉仕に関する声明として。理事会は、
1. 社会奉仕に関する1923年の声明が、もはや社会奉仕の理念ならびに国際ロータリーとそのクラブの原理を正確に記すものでないと判断する。
 2. 今後の『ロータリー章典』および『手続要覧』の改訂版からこの声明を削除するように（事務総長に）要請する。との内容でした。

X-5の提案者はビル・サージェント元R.I.副会長でポリオ撲滅を図るR.I.の中で最も熱心な推進者であり、ポリオ・プラス委員会の名誉委員長でした。そして提案の要請を受けるはずの現職のエドウィンR.I.事務総長自身も提案者の一人になっているという異常さでした。

日本のR.I.理事は、驚くとともに、この提案に対する関係者の思いの強さと、決議23-34をひそかに葬り

会長／久保泰正 幹事／野中英己 創立日／S60. 2. 20 認証日／S60. 3. 5
 例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
 事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
 会報委員／佐藤幸雄・山本健志・松井純治・荒木公義・平野義信・吉野尋隆
 E-mail/info@isahaya-west.com HP/http://isahaya-west.com

去る計画の奥深さを感じたのです。

その時のR Iの小沢一彦理事と渡辺好政直前理事らは、すぐに行動に移しました。この決議が採択されないようにロビー活動を始め多くのR I理事らと折衝を開始しました。色々な人との折衝の末、また多くの日本のロータリアンの暖かい励ましを得ることにより、2008年1月の理事会において、次のような成果を残すことが出来ました。

草案B-11の修正案

執行委員会により推奨された決定決議案

『手続要覧』および『ロータリー章典』に歴史的文書を保存すること

決定、理事会は、事務総長に以下を要請する。

1. 今後の『手続要覧』の改訂版に、社会奉仕に関する1923年の声明を歴史的文書として保存すること。
2. 1923年の声明が歴史的な価値を有するものとして、『手続要覧』に記載されていることを言及する文を、『ロータリー章典』に含めること。

このような努力の結果、先ほどの、『社会奉仕に関する1923年の声明の第1条を奉仕哲学の定義として使用する件』が多くの賛成を得て採択されました。

現在の、松宮R I理事が危惧されているように、R Iの戦略計画と日本のロータリアンの思いの、折り合いをつける為に、今まで多くの日本のR I理事、役員・ガバナーの皆さんが努力のされている事に対して、改めて敬意を表します。

幹事報告

【例会変更】

※なし

【お知らせ】

※なし

委員会報告・その他

①親睦委員会 毎熊委員長

職場訪問・親睦旅行の案内

10月8日 職場訪問（福岡県 アサヒビール工場）

10月9日 親睦旅行（山口県萩市）



塩澤恒雄ガバナー、竹田健介地区幹事、松本芳喜地区副幹事
：公式訪問45回目となります。懇談会では久保会長の熱い思いを聞かせていただきました。本日はよろしくお願い申し上げます。

平 武君：塩澤ガバナー、北島ガバナー補佐、竹田地区幹事、御来訪有難うございます。本日は御指導よろしく申し上げます。

久保 泰正君：塩澤恒雄ガバナー、北島ガバナー補佐、竹田健介地区幹事、松本芳喜地区副幹事の御来訪心から歓迎いたします。本日はよろしく申し上げます。

辻本 善樹君：塩澤ガバナー、北島ガバナー補佐、竹田地区幹事、松本地区副幹事、御訪問ありがとうございます。

宮本 峻光君：馬渡さん、東北大震災見舞いの訪問ご苦労さまです。私もご一緒したいのですが、都合がつかいません。よろしく。私の気持ちも伝えて下さい。塩澤ガバナーご訪問ありがとうございます。

野中 英己君：塩澤ガバナー、北島ガバナー補佐、竹田地区幹事、松本地区副幹事ようこそ諫早西ロータリーにお越し下さり有難うございます。御指導宜しくお願い致します。

荒木 公義君：塩澤恒雄地区ガバナー、竹田健介地区幹事、松本芳喜地区副幹事ご来訪いただきありがとうございます。北島良樹ガバナー補佐には先週の協議会ありがとうございました。

原田 典範君：塩澤ガバナーようこそ諫早西RCへ。

立野 守君：塩澤ガバナー公式ご訪問ありがとうございます

います。

吉田健一郎君：塩澤ガバナーの御来訪を歓迎致します。

本日は宜しく願い申し上げます。

木村 暢義君：塩澤ガバナーようこそ。西ロータリー諸君、ひさしぶり今日はいい勉強しようぜ。

日高 正朗君：塩澤ガバナーの御来訪を歓迎致します。

本日は宜しく願い申し上げます。

森 由有君：塩澤ガバナーのご訪問歓迎致します。この一年間のご活躍をお祈り致します。

池松 和彦君：塩澤ガバナーの公式訪問を歓迎致します。

清水 輝雄君：塩澤ガバナー御来訪歓迎致します。

塚原 浩三君：塩澤恒雄ガバナーの訪問を歓迎いたします。一年間よろしく願います。

山崎 祥弘君：塩澤ガバナー公式訪問歓迎します。御指導のほどよろしく願います。

馬渡 信也君：塩澤ガバナーの御来訪ありがとうございます。

中村 正美君：塩澤ガバナー、遠路の公式訪問感謝します。

吉次 良治君：塩澤恒雄ガバナーご来訪ありがとうございます。

本日の合計(9/18)	累計額
¥50,000	¥302,000

クラブアッセンブリー

塩澤恒雄ガバナー公式訪問



卓 話

第 2740 地区ガバナー 塩澤 恒雄様



私の出身は長野県の飯田市というところです。私が卒業しました飯田東中学校は当時 1000 名以上の生徒がいましたが、今は過疎化が進み 250 名程度まで減少しているようです。高校卒業後、文化系の学部を志望し、東京大学を何度か受験しましたが、最終的には親戚の強い薦めもあり、長崎大学の医学部へ入学することになりました。これが、私と長崎の初めての繋がりとなります。卒業後、佐世保と五島にて勤務医を経験しました。佐世保で勤務医をしていた時に佐世保中央 RC のチャーターメンバーになりました。これが私とロータリーの最初の出会になります。その後、平戸で開業することになり、平戸クラブに移籍することになります。

ところで、私の故郷である飯田市は、2027 年に開通予定のリニア中央新幹線の駅が近くに設置される可能性があり、関心が高まっているところです。是非皆さんも長生きをして利用して欲しいと思います。長生きと言えば、長野県は長寿日本一の県です。私の 3 つのキーワードは、「思いやり」「明るさ」「健康」ですが、まさに長野県は「健康」の県です。長野県は、昭和 40 年の調査では、平均寿命は男性 9 位、女性 26 位と決して現在のよう長寿県ではありませんでした。特に脳卒中における死亡者が全国 1 位と、大変不名誉な状況でした。そこで、地域を挙げて、塩分の摂取量を抑える等の生活習慣病対策を講じたこと、また、公民館の数を増やしたり、ボランティアへの参加を促したりと、生活に「生きがい」を求める取り組みを推進したことが、長寿日本一に良い

影響を与えたと思います。ちなみに野菜摂取量も長野県は1位です。ぜひ皆さんも意識してみてください。

最後にポール・ハリスのことについてお話しします。ポールは3歳のとき、父の破産のため、祖父母に預けられることになりました。生涯を通じて、両親の愛情にこそ恵まれなかったものの、決して不遇な少年時代を過ごしたわけではありません。ニューイングランドの素朴で信仰心の篤い清教徒に囲まれて育った環境に加えて、厳格であり、かつ愛情溢れる祖父母の存在は彼の人格形成に大きな影響を及ぼしました。ポールの少年時代の逸話は負けん気、冒険心、不屈の闘志を物語るエピソードで満ち溢れています。

しかし、持ち前の正義感から大学で退学処分を受けるなど、自由奔放な性格が、祖父母に大きな悲しみを与え、世間の人に顔向けできない結果を招いたことを悟ったポールは、人の信頼に応えることの重要性を深く悟り、

このことを契機に、利発でわんぱくな少年は理性と責任感ある青年に変身していったのです。1889年にオハイオ州立大学法学部に入学し、卒業と同時に弁護士試験にも合格します。その後、「5年間くらいは、一カ所に定住しないで各地を廻り、あらゆる事を経験する」ことを決心しました。波瀾万丈な生活は学生時代に留まらず、1891年の夏より、アメリカ全土とヨーロッパを放浪する冒険の旅が始まったのです。

ポールはカムリー・バンクの自宅で、この世を去りました。彼の遺体は、遺言によって、終生の友でありロータリー運動の良き理解者だったシルバスター・シールの隣に眠り、その墓石には、彼が一生をその活動に捧げたロータリーのマークが刻まれています。二つの墓石の間には、記念碑と歴代RI会長の名前が刻まれた遊歩道が作られ、プルー・アイランド・ロータリークラブがその管理をしています。

